

## 平成25年度 第2回理事会

日 時 平成25年5月29日（水） 15:30～

場 所 特別会議室

### I. 議 題

1. 平成25年度の会計監査人の選任について

### II. 報 告

1. 独立行政法人評価委員会の今後の予定について
2. 中央労働委員会への調停申請について
3. 独立行政監事等向けセミナーの概要
4. その他

### 資 料

- I-1 平成25年度会計監査人候補者の選定について
- II-1 独法評価関係の今後の予定（平成25年）
- II-2 独立行政法人監事等向けセミナー 制度設計から見た監事監査等の概要
- II-3 主要行事（2013年4月25日～5月28日）

## 平成25年度会計監査人候補者の選定について

独立行政法人通則法に基づく会計監査人の候補者の選任の手続きについては、本年3月28日の理事会において承認を得、提案書の募集及び候補者の選定手続を進めてきたところ、先般、会計監査人候補者審査委員会において、以下のとおり会計監査人候補者を選定したので、理事会で承認後、監事の同意を得て文書決裁に付し、農林水産大臣への選任請求を行うこととした。

(候補者名)

有限責任監査法人トーマツ

(候補者とした理由)

平成25年度会計監査人候補者の選定に当たり、提案書の募集公告を森林総合研究所のホームページに掲載したところ、新日本有限責任監査法人、有限責任監査法人トーマツ、有限責任あずさ監査法人及びあらた監査法人の4者から提案書の提出があった。

提出のあった提案書について内容を検討したところ、このうち3者は多くの独立行政法人の監査実績を持ち、独立行政法人の制度及び会計に精通するなど監査業務及び支援業務が効率的かつ円滑に実施されると判断された。中でも有限責任監査法人トーマツは、監査体制及び監査日数等の監査内容において高い評価を得るとともに、会計監査費用も妥当と判断され、同監査法人が当所の会計監査人候補者として最適と判断される。

なお、同監査法人は平成23年度に当所の会計監査人として、その業務に携わったところであるが、誠実かつ確実に履行されたところである。

○独法評価関係の今後の予定(平成25年)

	スケジュール	作業
5月20日	研究所会議	
		・事前説明の資料の決定 ・事前説明の日程調整 ・事前説明の担当者
6月5日	林野庁への事前説明	
	委員への個別事前説明 (文野委員への財務諸表説明 6月中旬)	・理事長、理事、審議役、部長、COD、経理課(文野委)が対応 ・整備セも同行
6月27日	49回林野分科会	・対象年度の業務実績概要を独法から説明 ・財務諸表等の承認
		・補足説明資料の作成(委員の意見・質問への回答)
7月下旬	林野分科会ワーキング会合	・独法から追加説明と質疑応答(非公開)
8月下旬	50回林野分科会	(独法に対して評価結果・意見の説明)
8月末～9月初	評価結果の通知	・分科会委員意見への対応方針の作成
10～12月	政独委二次評価	・対応を検討

## 林野分科会 資料一覧（案）

林：林野庁事前説明資料、○：委員事前説明資料

### 資料

- 林○ 1. 平成 24 年度評価単位自己評価シート
- 林○ 2. 平成 24 年度財務諸表等（事業報告書を含む）
- 林 3. 平成 24 年度契約関係資料
  - （分冊 1）試験・研究及び林木育種事業（研究・育種勘定）
  - （分冊 2）水源林造成事業等（水源林勘定及び特定地域整備等勘定）

### 参考資料

- 林○ 4. 平成 24 年度具体的指標自己評価シート（分冊 1、分冊 2）
- 林○ 5. 平成 23 年度業務実績評価結果通知後の対応状況
- 林 6. 平成 24 年度計画
- 林 7. 平成 25 年度計画（第 3 期中期目標、中期計画を含む三段表）

### その他

- 林○ 8. 平成 25 年版 研究成果選集
- 林○ 9. 平成 25 年版 水源林造成事業等成果選集
  - 1 0. 財務諸表説明用資料
  - 1 1. 平成 24 年版 年報：資料編
  - 1 2. 森林総合研究所要覧
  - 1 3. 2050 年の森 森林を育て、有効活用するための研究開発ロードマップ
  - 1 4. 環境報告書 2012（Ⅰ）（森林総合研究所）
  - 1 5. 環境報告書 2012（Ⅱ）（森林農地整備センター）
  - 1 6. 季刊森林総研（最新の号）
  - 1 7. 重点課題評価委員名簿

## 農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会委員名簿

任 期：平成 25 年 2 月 14 日～平成 27 年 2 月 13 日

### 委員(5名)

足 本 裕 子 (新)	文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議事務局長
酒 井 秀 夫	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
田 村 早 苗	青森大学経営学部教授
文 野 清 正 (新)	文野公認会計士・税理士事務所所長
三 井 昭 二	三重大学名誉教授

### 専門委員(7名)

片 桐 成 夫	島根大学名誉教授
加 藤 徹	宮城大学理事兼食産業学部教授
小 島 克 己	東京大学アジア生物資源環境研究センター教授
徳 地 直 子 (新)	京都大学フィールド科学教育研究センター教授
中 山 榮 子 (新)	昭和女子大学大学院生活機構研究科教授
肘 井 直 樹	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
横 田 正 彦 (新)	千葉県中部林業事務所森林振興課主任上席普及指導員

(五十音順、敬称略)

## 林野分科会における委員・専門委員の役割分担について

1. 委員（酒井委員、三井委員、文野委員、田村委員、足本委員）は、特に分担を決めずに全体の評価を行う。
2. 専門委員は、業務分野の評価について、専門分野に応じて、以下のとおり研究・育種分野担当と水源林造成事業等担当に分ける。ただし、業務分野以外の総務分野は研究・育種、水源林造成事業等の両方にまたがるため、担当を分けない。

\* 業務分野は、中期計画における「第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」とする。

○研究・育種分野担当：横田委員、小島委員、肘井委員、中山委員

○水源林造成事業等分野：片桐委員、加藤委員、徳地委員

3. 7月下旬にワーキング会合を開催し、以下の役割分担で評価作業を行う。
  - ① 総務分野シートの評価作業  
委員、専門委員全員
  - ② 研究・育種分野（業務）シートの評価作業  
委員、研究・育種分野担当専門員
  - ③ 水源林造成事業等分野（業務）シートの評価作業  
委員、水源林造成事業等分野担当専門委員



独立行政法人監事等向けセミナー  
制度設計から見た監事監査等の概要

ERNST & YOUNG  
Quality to Everything We Do

プログラム

- ▶ 日 時 平成25年5月8日(水)
- ▶ 場 所 霞が関ビル 33階セミナールーム

13:30～

▶ 開会の挨拶

経営専務理事 シニアパートナー 英 公一

13:35～14:40

▶ 制度設計・改革の現状とガバナンス

PAグループ エグゼクティブディレクター 岡本 義朗

総務省「政策評価・独立行政法人評価委員会」臨時委員

内閣官房「独立行政法人改革に関する有識者懇談会」構成員

< 休 憩 > (15分)

14:55～15:35

▶ 独法のガバナンス～会社法との比較の視点から～

パブリックグループ シニアマネージャー 山田 義浩

日本公認会計士協会「公会計委員会 独立行政法人・国立大学法人等専門部会」専門委員

15:35～15:55

▶ 質疑応答

15:55～16:00

▶ 閉会の挨拶

パブリックグループ シニアパートナー 樋澤 克彦



## 主要行事(2013年4月25日～2013年5月28日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
4月25日(木)	第1回理事会	理事長、各理事、両監事
26日(金)	みどりの式典	理事長
27日(土)	アノールWG会議	研究担当理事
5月7日(火)	庁議	理事長
	林野庁森林整備部との打合せ	理事長、企画・総務担当理事
	フィンランド大使館レセプション	理事長
8日(水)	フェロー授与式	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
	独立行政法人監事等向けセミナー(第1回)	両監事
9日(木)	特別講演「木質バイオマス改変に向けた基礎研究」	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
10日(金)	(一社)JAPIC森林再生事業化研究会	理事長
14日(火)	(一社)全国木材組合連合会総会	企画・総務担当理事
16日(木)	全国国有林造林生産業連絡協議会・全国素材生産業協同組合連合会表彰式及び合同懇談会	企画・総務担当理事
17日(金)	林業薬剤等試験成績発表会	研究担当理事
17日(金) ～18日(土)	鳥取大学グローバルCOEプログラム外部評価委員会	理事長
20日(月)	第1回研究所会議	理事長、各理事、両監事
21日(火)	第2回業績審査委員会	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長
	理事長打合せ(支所長等)	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長
22日(水)	国際生物多様性の日 記念シンポジウム	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、両監事
23日(木)	(公社)GGG総会	理事長
	会計監査人候補者審査委員会	企画・総務担当理事
24日(金)	(公社)大日本山林会総会	理事長
25日(土) ～26日(日)	全国植樹祭	理事長、森林農地整備センター所長
27日(月)	(一社)海外林業コンサルタンツ協会総会	理事長
28日(火)	森林・木材・環境アカデミー総会	理事長
	森林・木材・環境アカデミーシンポジウム	理事長、企画・総務担当理事、業務承継円滑化・適正化担当理事、西田監事

※森林農地整備センター所長は森林業務担当理事が、また林木育種センター所長は育種事業・森林バイオ担当理事がそれぞれ担当している。



森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する附帯決議

地球温暖化防止は、国際社会にとり重要かつ喫緊の課題となっており、我が国においては森林の有する二酸化炭素吸収機能を十分に発揮させることが求められている。このため、適切な間伐等による森林整備を進めることが必要であるが、木材価格の低迷による林業経営の採算低下や地方公共団体の厳しい財政事情等により、整備の必要な森林が残されている。

森林は、国土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全及びレクリエーションの場の提供など、豊かで安全な国民生活を送る上で重要な役割を果たしている。その恩恵を将来にわたり享受するには、森林を健全な状態に維持していくことが必要である。

よって政府は、本法の施行に当たり、次の事項の実現に万全を期すべきである。

一 間伐等の森林吸収源対策を引き続き着実に進めるため、国の財政措置を拡充するとともに、森林吸収源対策の実行に必要な新たな財源の確保を図ること。

二 木材自給率五〇％達成に向けて、木材の利用が地球温暖化防止等に果たす役割についての国民への啓発を促進しつつ、公共建築物への国産材利用の拡大、木質バイオマスの利用促進、国産材の輸出促進等により間伐材を含む木材の需要拡大を図ること。

三 成長に優れた苗木の生産拡大に当たっては、生物多様性の保全に配慮しつつ、少花粉スギ等の花粉発生量が少ない品種の開発を更に進めるとともに、既存のスギ林の植え替えなど花粉発生源対策を一層推進すること。

- 四 間伐等の森林整備を一層推進するため、人材育成の充実・強化、農業と林業が連携した鳥獣害対策、地籍調査の加速化や森林情報の共有、公的森林整備の推進、山村活性化への取組等の更なる充実を図ること。
- また、都道府県林業公社について、一層効率的かつ効果的な森林経営の推進に必要な対策を講ずること。
- 五 国有林においても間伐等の森林整備、民有林との一体的な整備及び保全等が着実に推進されるよう、適正な人員等の確保、人材の育成、技術の継承等に努めること。
- 六 放射性物質に汚染された森林の経営・施業、原木しいたけ等の生産への支援、海岸防災林の着実な復旧・整備等を進めること。また、震災復興住宅など被災地復興に当たって国産材の利用を図ること。
- 右決議する。